



## ViEW2026 ビジョン技術の実利用ワークショップ

<https://www.tc-iaip.org/view/2026/>

日時：2026年12月3日(木), 4日(金)

会場：パシフィコ横浜 + オンライン

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

ViEW (Vision Engineering Workshop) は、1989年に「外観検査の自動化ワークショップ」として発足し、以来四半世紀以上にわたり、日本の画像処理技術の実利用を牽引してきました。2003年には「ビジョン技術の実利用ワークショップ」へと名称を改め、外観検査を軸にしつつも、時代のニーズに応じて対象分野を拡大してまいりました。現在では医療・農業・モビリティなど、多岐にわたる実応用をカバーする国内随一の場となっています。

コロナ禍でオンライン開催が続いていた ViEW は、2023年より現地+オンラインのハイブリッド形式へと移行しました。前年の ViEW2025 では対面での熱のこもった議論と、オンライン参加による広がりとの両面から、大きな盛り上がりを見せました。昨年は約 100 件の過去最多の講演に対し、参加者は 770 名を超え、その多くが企業関係者という点も ViEW ならではの特徴です。

さらに、優れた講演には「小田原賞(一般)」「若手奨励賞(若手研究者)」を授与し、研究奨励にも力を入れています。産・官・学の技術者・研究者をはじめ、画像認識技術の応用に興味をお持ちのすべての方々のご発表・ご参加を心よりお待ちしております。

実行委員長：中村 明生 (東京電機大学) プログラム委員長：望月 貴裕 (NHK 放送技術研究所)

- 講演申込：2026年9月11日(金) / 採択通知：2026年10月2日(金) / 原稿提出：2026年10月23日(金)
- 申込先：ViEW2026 ホームページからお申し込み下さい <https://www.tc-iaip.org/view/2026/>
- 募集セッション：インタラクティブセッション および ハイブリッドセッション (発表は現地のみです)
- スコープ：ワークショップの募集する対象分野を示します(応募対象はこれらに限られるものではありません)

対象分野	キーワード
① 基礎・基盤	画像処理アルゴリズム、パターン認識、深層学習、ビッグデータ、認証、三次元計測
② 産業応用	検査、計測、FA、ロボットビジョン、効率化、人手不足対策、監視、医療・介護
③ メディア・映像	映像処理、メディア処理、感性情報処理、ヒューマンインタフェース、スポーツ
④ 社会インフラ	先進運転支援システム、自動運転、防災、物流、インフラ管理・保全
⑤ 農林水畜産業	農業、林業、水産業、畜産業

主催 公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会  
共同企画 大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会 (精密工学会)、非整備環境における AI を活用した高度センシング技術調査専門委員会、スマートビジョンのための次世代 AI 技術協同研究委員会 (電気学会)、パターン計測部会 (計測自動制御学会)、製造工程検査部門 (日本非破壊検査協会)  
協賛 電気学会、計測自動制御学会、情報処理学会、日本ロボット学会、電子情報通信学会、エレクトロニクス実装学会、センシング技術応用研究会、日本電気制御機器工業会、日本非破壊検査協会、画像センシング技術研究会  
同時開催 国際画像機器展 (12月2, 3, 4日) 連絡先：アドコム・メディア TEL：03-3367-0571  
お問合せ先 アドコム・メディア(株)内 画像応用技術専門委員会事務局 「ViEW2026」係  
〒169-0073 新宿区百人町 2-21-27 TEL：03-3367-0571 E-mail：iaip@adcom-media.co.jp